

令和2年度
池田小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- めあてをもち、ふり返ることにより、主体的に考える力を育成する授業の実践
- 対話的な学びを通して、互いに伝え合う力を育成する授業の実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員

校長



○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字や計算など基礎基本の習得に向け、努力することができる。 ○相手の顔を見て、話を聴こうとする意識が育ちつつある。 ●基礎学力や定着の度合いに個人差がある。	・学習の過程を通して習得した知識や技能を用い、主体的に学習に取り組むことができる。 ・目と耳と心で人の話をじっくりと聴くことができる。	・自分の思いや考えを深めるために、ペア学習など他者の意見を取り入れる場面を増やす。 ・何が書かれているかを捉えさせるために、アンダーラインや囲みなどを用い、内容を正確に読み取らせる工夫をする。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを発表したり、友達の意見を聞こうとしようとしたりすることができる児童は多い。 ●自分の考えをまとめたり、理由をつけて発表したりする力に課題がある。	・自分の考えを場面や目的に応じて的確な言葉を選んで話したり、書いたりできる。 ・話し合いの場面で、根拠を明らかにして話したり、めあてに沿って話し合ったりすることができる。	・ホワイトボードなどの様々な学習用具やICTを活用し、話し合い活動等の充実を図る。 ・多様な意見や考えが生まれるような学習課題や活動を設定する。 ・視点を明確にした公開授業を行う。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○各授業に対して一生懸命取り組むことができる。 ●学習課題を主体的にとらえ考える力に課題がある。 ●家庭学習(自主学習・読書)の取り組み方に個人差がある。	・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・自分の学習の状況をしっかりと振り返り、自らの課題を解決できるよう計画を立て、実践することができる。	・めあてとふり返りを意識した授業を心がけ、児童が見通しを持ち、主体的に学習に取り組めるようにする。また、振り返りでは、児童に視点を示し、記述させる。 ・手引きを活用し、児童に学習の視点を示したり保護者への啓発を行ったりし、家庭学習の充実を図る。			

令和2年度 学力向上ロードマップ

